

---

# どうか君が、幸せでありますように...と。

ユリ ナ・レシモーレ

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

どうか君が、幸せでありますように…と。

### 【Nコード】

N3284Y

### 【作者名】

ユリ ナ・レシモーレ

### 【あらすじ】

夢と彼女の選択で、夢を選んだ少年。幸せに出来なかった彼女に、少年が願うことは…？

(前書き)

今回は、「夢」という題材を取り入れてみて、少し違うストーリーを作ってみました。

読んで頂けたら、幸いです。

「ねえ、夢と私、どっちの方が大切？」

と君に聞かれて、とっさに口に出してしまった答えは、

「夢…」

だった。

その時の君の顔が、今でも頭から離れない。

目に涙をいっぱいためて、苦しそうに悲しそうに、けれど、どこか悔しそうな瞳で僕を見てた。

3

そして、

「分かった、ありがとう。元気だね」

と、一瞬笑いながら去って行く君の後ろ姿を、見ていた。

今までは、ずっと、

「君と夢はどっちも大切だから、決めることなんて出来ない」と言っただけなのに。

どうしてかな…。

少しずつ、気持ちは変化していたのかな…。

夢を追いかけるのに夢中になって、君を見失ってしまったのかな…。

でも、もう後戻りは出来ない。

だから、僕は、君に最後のメールを送った。

「昨日はひどいことを言って、傷つけてしまっただけで本当にごめん。一緒に過ごした日々は、とても楽しかったし、大切な時間でした。付き合ってくれて、嬉しかった。ありがとう」

すると、数分後、君から返信が来た。

「大丈夫です。本当の気持ちを知れたので、良かったです。私も、同じように楽しかったです。こちらこそ、ありがとう。自分の道を見失わずに、絶対に夢を掴んで下さい。大好きでした、さようなら」

と、君からの最後のメールを読み終えた。

その瞬間、自然と涙が溢れてきた。

僕が、君のことを本当に好きだったと、その時に実感した。

でも、その涙は、悲しいと言うより温かく感じた。

きつと、君が最後の最後まで僕のことを応援してくれたからだと…  
思った。

桜咲く、春の始め。

僕は、自分の夢を叶えた。

もう、連絡もつかなくなってしまった君は、今どうしているだろうか？

新しい人を見つけて、新しい恋をしているだろうか？

僕には、そんなこと分らないけれど…。

君を手放して、幸せに出来なかった僕だけど…。

1つだけ願う。

“どうか君が、幸せでありますように…と”

(後書き)

読んで頂き、ありがとうございました！

次回作も、是非ともよろしくお願いいたします。



## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n3284y/>

---

どうか君が、幸せでありますように...と。

2011年11月7日22時07分発行